

本市の学校再編に買する

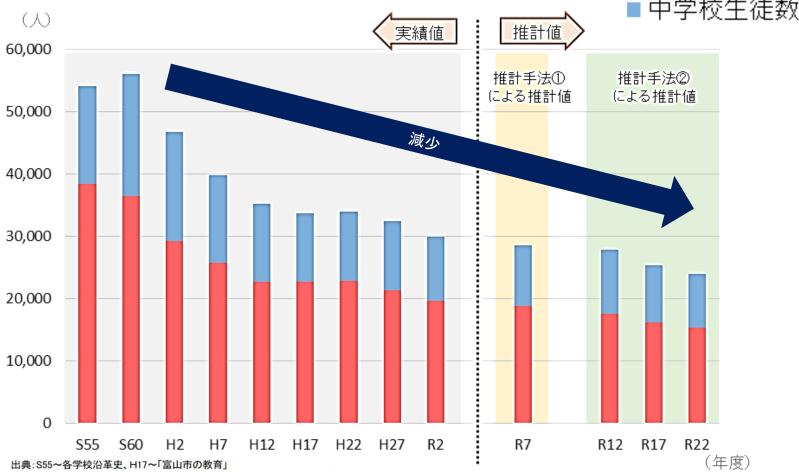
取り組みについて

### 本市の教育環境を取巻く状況 児童生徒数の推移

■小学校児童数

富山市の児童生徒数の推移

中学校生徒数



推計手法①: 令和2年度時点における1~9歳の各歳人口を、令和7年度時点における6~14歳の各歳人口とみなして(転出入や死亡による人口の増減を考慮しない)推計したもの。 推計手法②:平成27年国勢調査の人ロデータを基に、コーホート要因法により学校区ごとに5歳階級別で人口推計を行ったうえで、6~14歳人口を抽出して児童生徒数の推計値を算出。 さらに、推計手法①と推計手法②の推計値の差分を以下の補正値により補正したもの。

(補正値)=(推計手法①による令和7年度の推計値)/(推計手法②による令和7年度の推計値)

-1-TOYAMA CITY

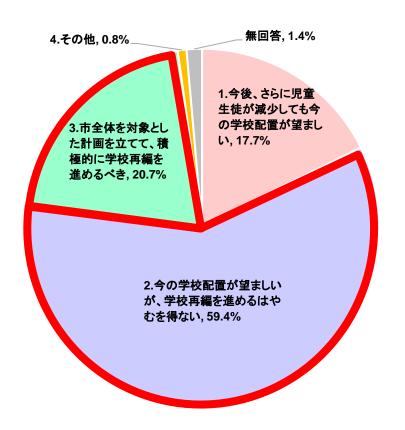
# 1 本市の教育環境を取巻く状況学校規模の推移

#### 学校規模別小学校数 学校規模別中学校数 (校) (校) 80 30 70 11 16 25 19 18 11 8 6 60 10 13 24 20 21 50 20 24 22 19 6 24 21 40 15 10 11 30 10 20 38 14 14 14 35 35 33 小規模校 10 (年度) R2 (年度) S55 S60 H2 H7 H12 H17 H22 H27 R2 S55 S60 H2 H7 H12 H17 H22 H27 ■小規模校 ■標準規模校 ■大規模校 ■小規模校 ■標準規模校 ■大規模校 (19学級以上) (12学級以上18学級以下) (19学級以上) (11学級以下) (12学級以上18学級以下) (11学級以下)

TOYAMA CITY -2-

### 2 本市の再編取組の状況 市民アンケートの実施、通学区域審議会への諮問

对象者5,000人、回答者数2,211人、回収率44,2%



概ね8割の方が学校再編を『推進』又は「容認」



- (1)望ましい学校規模(学級数及び学級人数)
- (2)望ましい通学距離と通学時間
- (3)適正化を検討する学校規模 (基準)
- (4) 適正化を進める上で 考慮すべきこと

TOYAMA CITY -3-

### 2 本市の再編取組の状況 富山市立小・中学校の

### 適正規模・適正配置に関する基本方針

### 望ましい学校規模(学級数・学級人数)

	1校当たりの学級数 (各学年ごとの学級数)	1学級あたりの 学級人数	
小学校	12~18学級 (2~3学級)	少なくとも	
中学校	<b>9∼18学級</b> (3 <b>∼6学級</b> )	21人以上	

### 早期に適正化を検討する学校規模

- ・複式学級が存在する学校 (複数の学年が一つのクラスで授業を受ける学級)
- ・金学年が単学級(各学年1クラス)である学校

### 望ましい通学距離と通学時間

	通学距離	通学時間
徒歩	2~3km以内	
自転車	6km以内	30分~40分以内
バス		自宅から概ね 1時間以内

### 適正化を進める上で考慮すべきこと

1 環境変化に対する配慮
2 通学の安全確保
3 保護者や地域の理解と協力
4 既存施設の活用
5 多様な教育方法の検討

TOYAMA CITY -4-

### 3 今後の再編に関する取り組み 市立小・中学校の再編計画の考え方

#### (1) 再編対象校の選定

再編の対象となる学校は、<u>早期に適正化を検討す</u>る学校規模を定めた基本方針に基づき、

- ・複式学級が存在する学校(小学校9校)
- ・全学年が単学級である学校 (小学校16校、中学校2校)

とし、選定時点を令和3年度とする。 (再編が先行している水橋地区を除く)

#### (2) 再編を考える範囲

再編を考える範囲は、総合計画や都市マスタープランなどで設定されている<u>14地域生活圏</u>とする。

#### (3) 再編の組み合わせの検討

- ①<u>同一の地域生活圏内において、</u>隣接する学校 で適正規模となるかを検討
- ②適正規模とならない場合は3校以上での再編 を検討する。
- ③同一地域生活圏内での再編が困難な場合は、 地域生活圏をまたいだ再編を検討する。 新たな再編校の設置にあたっては、原則既存校舎 の活用を検討するものとする。

#### (4) 小学校と中学校の併設の検討

同一の地域生活圏内の小学校で、次のような場合 には、中学校との併設も念頭に再編案を検討する。

- ・新たな再編校は適正規模校となるが、一部小 規模校が残置する場合
- ・同一地域生活圏内に中学校が一つの場合

#### (5) 再編素案検討の観点

再編素案は、客観的なデータを次の観点から検討し、複数案を策定する。

- ・児童生徒数推移による学校規模及び教室過不 足数の観点
- ・建物 (校舎・体育館) 健全度の観点
- ・通学距離が遠方(徒歩で3km超)となる児童 生徒数の観点
- ・立地適正化計画等他計画との整合性の観点

#### (6) 今後の進め方

富山市通学区域審議会に諮問を行い、令和4年3月末 までに教育委員会の再編計画を策定する。

この計画は、保護者や地域の方への説明や議論を行うための本市の案となるものである。

※本市が進める学校規模の適正化や適正配置のことを「学校再編」と定義します。

TOYAMA CITY -5-

## 3 今後の再編に関する取り組み 14地域生活圏別の小・中学校

再編対象校

中学校

水橋、三成

地域	小学校	中学校	地域	小学校
富山中央		芝園、堀川、 南部、奥田、 大泉	水橋	水橋中部、水橋西部、 水橋東部、三郷、上条
富山北部	浜黒崎、岩瀬、 萩浦、 大広田、針原、豊田	北部、岩瀬	大沢野	大沢野、大久保、船峅
和合	四方、八幡、草島、倉垣	和合	大山	上滝、大庄、福沢、小見
呉羽	呉羽、長岡、寒江、 古沢、老田、池多	呉羽	八尾	八尾、杉原、保内、樫尾
富山西部	桜谷、五福、神明	西部	婦中	速星、鵜坂、朝日。 宮野、古里、音川、神保
富山南部	堀川南、蜷川、新保、 熊野、月岡	月岡、興南	山田	山田
富山東部	東部、山室、山室中部、 太田、広田、新庄、 新庄北、藤ノ木	東部、新庄、 山室、藤ノ木	細入	神通碧

E郷、上条 、保、船峅 大沢野 福沢、小見 上滝 保内、樫尾 八尾、杉原 朝日 速星、城山 音川、神保 H 山田 碧 楡原

-6-**TOYAMA CITY** 

### 「子どもと学校、地域の未来を育むワークショップ」の開催

□	日時	場所	人数
第1回	2021/7/11(日) 9:30 - 12:00	大沢野生涯学習センター大ホール	44名
第2回	2021/7/18(日) 9:30 - 12:00	神保地区コミュニティセンター多目的ホール	46名
第3回	2021/7/25(日) 9:30 - 12:00	サンシップとやま福祉ホール	35名
第4回	2021/7/31(土) 9:30 - 12:00	岩瀬カナル会館大ホール	33名
第5回	2021/8/8(日) 9:30 - 12:00	呉羽会館集会ホール	30名
			計188名



TOYAMA CITY -7-